

○「図面とアンケート結果をもとに意見交換」

(京都府宮津市 柿ヶ成地区 H31第2回)(上宮津地区連絡会議活動)

担い手への
農地利用の
集積・集約化遊休農地の
発生防止・
解消新規参入の
促進その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和2年2月18日(木) 18:00~20:30
- 場 所: 宮津市柿ヶ成集会所
- 出席者: 関野委員、細見推進委員
農家組合員9人、市1人、事務局1人
※委員2人、委員以外11人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

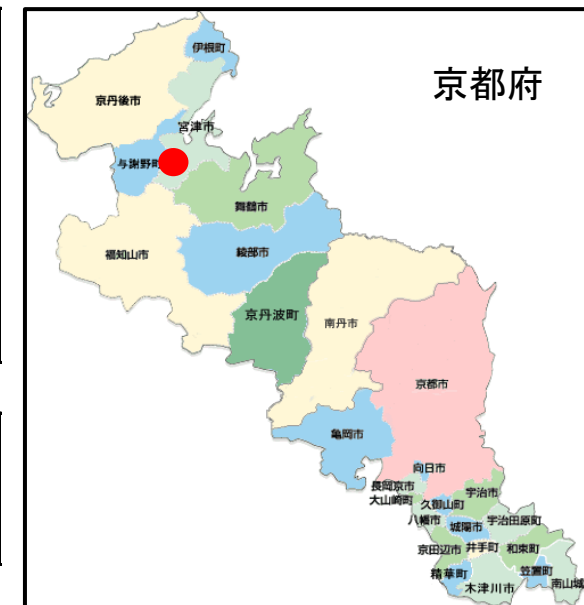
2 地区の特徴、状況、課題

- 山田(7区)、喜多(5区)、今福(2区)で構成される地域
- 大江山から市街地にかけての宮津市の中でも大きな面積と耕地に恵まれている 農家数106戸
- 水稻が中心で、ブドウ・採種・コギクなどの栽培が行われている 耕地60.14ha

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 耕作者図面とアンケート結果を説明
 - ・営農者13人、うち後継者がいる農家2人
 - ・5年後の空き農地予定: 60a
 - ・今後の地域農業の姿の回答: 基幹作業受委託、機械共同使用、共同耕作
 - ・次世代の今後の意向: 基幹作業の手伝い、不明 ※経営を継ぐ回答は無し
- 意見交換
 - ・今の時代、若者は農業で兼業の意思はない
 - ・個人の営農と重なり対応困難
 - ・今年は、共同作業の面積が50aから1haに増加する見込み 等

※次回: 次世代による話し合い、5年後の地域の体制検討



4 活動結果

- 情報・意見交換 2.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援